

# 指定管理者評価シート

事業名	生涯学習センター運営管理費	所管課(電話番号)	教育委員会生涯学習部生涯学習推進課(211-3871)
-----	---------------	-----------	-----------------------------

## I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市生涯学習センター (札幌市教育センター開放施設を含む)	所在地	西区宮の沢1条1丁目
開設時期	平成12年8月25日	延床面積	12,106㎡
目的	市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、生涯にわたる学習活動を総合的に支援することにより、豊かな生涯学習社会の実現を図る。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習に関する学習機会の提供及び指導者等の人材育成に関すること。</li> <li>・生涯学習に関する調査、研究、企画立案及び啓発に関すること。</li> <li>・生涯学習に関する情報の収集及び提供並びに相談に関すること。</li> <li>・生涯学習に関する事業を行う団体の連携及び交流の支援に関すること。</li> <li>・学習成果の発表及び鑑賞の支援に関すること。</li> <li>・生涯学習センターの施設を使用に供すること。</li> <li>・その他生涯学習センターの設置目的を達成するために必要な事業。</li> </ul>		
主要施設	ホール、講堂、研修室、音楽・演劇スタジオ、メディアプラザ(図書、視聴覚、学習相談コーナー)等		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人札幌市生涯学習振興財団		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由:当該施設は、札幌市における生涯学習施策を推進していくための総合的な中核施設であり、指定管理者には生涯学習に関する専門的な知識や事業の企画立案に関するノウハウが必要であるとともに、運営管理にあたっては、長期的な視野に立った継続的な事業運営や人材育成が必要であることから非公募とした。		
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設維持管理業務、貸室業務、学習機会提供事業、学習活動支援事業等		
3 評価単位	施設数: 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

## II 平成28年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価												
1 業務の要求水準達成度															
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 学習ニーズを踏まえた市民参画による魅力的な事業を推進した。</li> <li>▼ 有機的なネットワークの形成と学びのコミュニティを創造した。</li> <li>▼ 創意工夫による効率的・効果的な事業運営と施設運営を継続した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針に基づき、管理運営を実施することができた。</li> <li>・要望を踏まえて市民の学習発表の場を充実させるなど、市民ニーズに応える事業を実施することができた。</li> <li>・民間企業や行政機関、専門機関などと連携し、それぞれの持つノウハウとネットワークを生かした、高度な学習機会を提供することができた。</li> <li>・ご近所先生企画講座において、講座のサークル化を積極的に促し、受講者間のつながりを継続させるよう努めた。</li> <li>旧レストラスペースに休憩・飲食・交流等の機能を備えた「ちえテラス」をオープンし、利用者の利便性向上と新たな利用者の獲得を図ることができた。</li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 25%;">A</th> <th style="width: 25%;">B</th> <th style="width: 25%;">C</th> <th style="width: 25%;">D</th> </tr> <tr> <td colspan="4">                     ・適正な管理運営により要求水準を達成していると認められる。                 </td> </tr> <tr> <td colspan="4">                     ・施設利用者の利便性向上に資する取組であることは評価できる。一方で、収益の面で効率性を意識した事業運営が行われるよう期待したい。                 </td> </tr> </table>	A	B	C	D	・適正な管理運営により要求水準を達成していると認められる。				・施設利用者の利便性向上に資する取組であることは評価できる。一方で、収益の面で効率性を意識した事業運営が行われるよう期待したい。			
	A	B	C	D											
・適正な管理運営により要求水準を達成していると認められる。															
・施設利用者の利便性向上に資する取組であることは評価できる。一方で、収益の面で効率性を意識した事業運営が行われるよう期待したい。															
<p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 貸室の平等利用を図るため、毎月抽選による受付を実施した。抽選受付は先着順とし、受付方法についての効率化や分かりやすい説明を心がけた。</li> <li>▼ 講座の受講機会の平等を図るため、受講希望者多数時にはコンピュータによる自動抽選を実施した。</li> <li>▼ 多くの市民に情報を提供するため、HPや広報誌の発行、広報さつぼろへの掲載などの広報活動を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の公平な利用に供するよう関係条例や規則の遵守を職員に徹底するとともに、厳正な抽選を実施し、平等利用を確保することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公の施設を運営する上で、平等利用を確保できることは大前提であるため、今後も徹底して取り組んでいきたい。</li> </ul>													

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

▼ 事務用品について、リサイクル商品や、詰め替えで再利用できるものを積極的に使用し、ゴミの軽減に努めた。また、再生紙利用の推進、資源回収によるゴミのリサイクル化など環境配慮に努めた。

▼ 過剰冷房・暖房を控え、事務室の設定温度の上・下限を定めるとともに、5月～10月はクールビズを実施した。  
また、貸室においても、利用者に対して設定温度での空調利用を要請した。

▼ 広場などの照明間引きを増やし、看板照明の点灯時間短縮、トイレのエアタオルや便座暖房の抑制、使用していない照明の消灯を徹底するなど、節電に努めた。

▼ 空調機の断続運転や外気導入量の制限をするなど省エネへの取り組みを実施し、さらなる環境配慮に努めた。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

▼ センター長1名、課長2名、係長4名を配置した。

▼ 業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を定めた。

▼ 係単位で定期的に会議を行い、様々な問題について協議するとともに、文書やメール等により職員間での情報を共有することで、市民サービスの維持向上に努めた。

▼ 人材育成のための研修を実施するとともに、外部研修等に参加した。(別紙参照)

・リサイクル品の購入や、ゴミのリサイクル化、冷暖房の節約などにより、温暖化対策などに努めることができた。

・職員全員で省エネに取り組むことにより、環境配慮への意識向上につながることができた。

・適切な人員配置を行うとともに、業務の効率化を図ることで、サービスの維持確保を図ることができた。

・研修等に積極的に参加し、職員の専門性の向上、スキルアップを図るよう努めた。

・用紙の再利用などの環境に配慮した取組や燃料費の節減に積極的に取組まれている。

引き続き、職員一丸となって地球温暖化対策及び環境配慮の取組を推進していただきたい。

・業務効率化のためには、適切な人員配置が不可欠である。また、当センターの勤務体制を考慮すると、情報共有体制の確立も必要であるため、継続して見直しを図り、組織体制の更なる改善に取り組んでいただきたい。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

- ▼ グループウェアの運用
- ▼ 会計・財務システムの運用
- ▼ 貸室受付システムの運用
- ▼ 事故対応要領に基づき、事故防止、事故発生時における、組織内の役割分担、緊急連絡体制などを整備し、迅速かつ適切な対応を心がけた。

利用者のニーズを考慮した貸室受付システムの改善を行い、管理水準と利用者の利便性の向上に努めた。

・システムの改善など、適切な管理水準の維持向上に資する取組が見られ、また、利用者の利便性の向上も図られている。  
 ・災害発生時など、非常時に公の施設に求められる役割は大きいため、引き続き、安全確保の徹底に努めていただきたい。

・職員全員が事故防止を心がけ、安全確保を図ることができた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認）

- ▼ 警備・清掃・施設管理などの委託業務において、日報、月報、報告書により管理状況を確認するとともに、適宜打合せを行い、現状の把握と今後の対応などの情報交換を図り、迅速かつ適正な維持管理に努めた。

・故障、破損等を早期発見するなど、日常的に情報の共有が図れた。また、適時適切な対応についての協議および指示を行い、適正に業務を監督することができた。

・適正に第三者に対する委託業務等の管理がなされている。なお、第三者への委託業務については建物本体の維持管理に係る部分が多いため、今後も委託先との情報共有と適切な指導監督を行い、施設の良好な維持管理に努めていただきたい。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

開催回	協議・報告内容
第1回 (10月31日)	委員7名参加 ・委員長の互選について ・管理業務等の状況の報告について ・管理運営水準の維持向上に向けた協議
第2回 (12月14日)	委員6名参加 ・管理業務等の状況の報告について ・管理運営水準の維持向上に向けた協議 (平成28年度第1回運営協議会での主な意見に対する進捗状況、・カフェ事業の概要説明)
第3回 (2月28日)	委員7名参加 ・管理業務等の状況の報告について ・管理運営水準の維持向上に向けた協議 (利用者意見と回答、周知、PRについて、平成29年度の生涯学習センター事業の展開について)

・飲食スペースの活用方法や広報活動、施設の管理運営に関する助言など、多くの意見をいただくことができた。また、その意見の一部を施設運営に取り入れることで、市民がより利用しやすくなるよう努めた。

・運営協議会が管理業務等の状況報告を行う場である以上は、定期的な開催となるよう心掛けていただきたい。  
 ・前年度との比較が可能な資料を用意するなど、運営協議会が更に有意義な場となるよう工夫していただきたい。

<協議会メンバー(7名)>

- ・札幌国際大学教授 佐久間章
- ・西のコンサ通り商店会会長 安田 敦司
- ・さっぽろ市民カレッジ講師 井上美豊子
- ・さっぽろ市民カレッジ講師 原田稔
- ・札幌市教育委員会生涯学習推進課長 大場智裕
- ・札幌市生涯学習センター総務課長 成田正生
- ・札幌市生涯学習センター事業課長 楠幸恵

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施しており、公認会計士による外部会計監査を導入している。</li> <li>▼ 流動性や利回り等に配慮し、金融機関及び金融商品の安全性に一層留意した対応を行っている。また、資産の健全性確保を図るため、「資産管理運用方針」等を定め、遵守している。</li> <li>▼ 「経理面での不正防止対策について」及び「小口現金取扱要領」に基づき、現金残高、銀行口座、郵便振替口座の確認、領収書の作成及び保管、金券類、小口現金の管理を行い、適正な事務処理の徹底に努めた。</li> </ul> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 要望・苦情に対しては、利用者ニーズとして記録し、速やかな対応を心掛けた。また、毎月届いている要望等を職員で供覧し、情報の共有に努めた。</li> </ul> <p>【要望】市の他の公共施設のように部屋の申し込みや予約を簡単にできるようにしてほしい。 【対応】9月より導入した貸室受付システムにより、申請書記載の簡素化を図った。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 利用者アンケートや各事業の受講者アンケート等によるセルフモニタリングを実施した。利用者アンケート等での要望・意見については、所管局とも連携し適切に対応した。</li> </ul>	<p>・所管部局による監査及び公認会計士による外部監査の結果、適正に管理しているとの評価を受けることができた。</p> <p>・意見、要望、質問について迅速な回答と対応を心掛けた。</p> <p>・意見、要望、質問について迅速な回答と対応を心掛けた。</p>	<p>仕様書等に基づき、適切に取り組まれている。引き続き、適切な管理に努めていただきたい。</p> <p>要望や苦情は、現在の取組を見つめ直す機会ともなることから、引き続き、職員間での情報共有に努めていただきたい。</p> <p>・記録やセルフモニタリングについては、業務改善や利用者サービスの向上に結びつけることが目的であるため、今後も、職員一丸となって目的意識を共有し、より有意義な取組となるよう努めていただきたい。</p>								
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 財団諸規則の見直しや、ハラスメント相談窓口を設置するなどし、適正な労働環境の確保に努めている。また、法定労働時間を超えての労働については、36協定を労使で締結し、労働基準監督署に届け出た。</li> <li>▼ 札幌市ワーク・ライフ・バランス取組企業認証を受けており、職員のハラスメント防止研修の実施、育児休業の取得促進など雇用環境の向上に努めた。</li> </ul>	<p>・関係法令を遵守し、雇用環境の向上を図ることができた。</p> <p>・社労士に委託し、相談窓口を設置した他、労務環境及び諸規則の相談を行い、職員の労働環境の改善に繋げることができた。</p> <p>・ハラスメント防止研修を全職員対象に実施し、職員の意識の向上を図ることができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>・相談窓口の設置、監督署への届出等労働関係法令の遵守に向けた適切な取組がなされている。雇用環境の維持向上は業務効率を維持するためには必要不可欠であることから、今後も、職員のワーク・ライフ・バランスの達成に資する取組を継続していただきたい。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>・相談窓口の設置、監督署への届出等労働関係法令の遵守に向けた適切な取組がなされている。雇用環境の維持向上は業務効率を維持するためには必要不可欠であることから、今後も、職員のワーク・ライフ・バランスの達成に資する取組を継続していただきたい。</p>			
A	B	C	D								
<p>・相談窓口の設置、監督署への届出等労働関係法令の遵守に向けた適切な取組がなされている。雇用環境の維持向上は業務効率を維持するためには必要不可欠であることから、今後も、職員のワーク・ライフ・バランスの達成に資する取組を継続していただきたい。</p>											

(3) 施設・設備等の維持管理業務	▽ 総合的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)		A B C D			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 各関係法令に基づき、施設設備などを良好に維持した。長期的かつ安全な維持管理を行うため、故障や破損の早期発見、初期対応を速やかに行い、被害を最小限にとどめた。既に対応終了となっている防犯カメラ等機器類や、経年劣化により早期の改修が必要となっている施設構造部分などについては、計画的に所管局と連携し、解決していくよう努めた。</li> <li>▼ 事件・事故が発生した場合は、適確に状況を判断し、常に利用者の安全を優先するよう職員の意識を統一した。また、職員が救命講習を受講し、応急処置及び救命措置の知識を得ることにより、利用者の安全を確保した。</li> <li>▼ 緊急連絡網により、有事の連絡体制を確保した。</li> <li>▼ 損害保険等、必要な保険に加入し、万一の事故に備えた。</li> </ul> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 清掃業務 清掃員を配置し、開館前及び開館中に巡回清掃することで、常に清潔な施設を維持した。ワックス塗布などの定期清掃も計画的に実施した。</li> <li>▼ 警備業務 警備業務実施要領に基づき、専門の警備員を配置し、防災防犯体制を整え、利用者の安全確保に努めた。</li> <li>▼ 施設維持管理業務 施設及び設備の機能を長期的かつ正常に保つよう点検・保守に努め、故障が発生した場合は、速やかに復旧するよう努めた。</li> <li>▼ 駐車場管理 「生涯学習センター駐車場管理運営業務仕様書」に基づき、駐車場管理業者と協議を行いながら、適切な運営を行った。</li> <li>▼ 外溝緑地管理 再委託業者に対し、随時適切な指導監督、点検確認を行い、美観の保持、利用者の安全を確保し、快適な緑地環境に努めた。</li> </ul> <p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 利用者の安全を確保するため、防災計画に基づき、災害などの緊急事態に備えた体制作りを行った。</li> <li>▼ 生涯学習総合センター内の4施設合同の防災訓練を定期的実施し、災害時に備えた。平成27年6月、平成27年10月、平成28年3月に消防訓練を実施した。</li> </ul>	<p>・仕様書及び関係法令を遵守し、故障や破損等の早期発見に努めることで、迅速な対応をとることができた。</p> <p>・利用者の立場に立って、安全面の確保や施設利用における柔軟な対応を心掛け、市民サービスの向上に努めた。</p> <p>・清掃、警備、施設設備などにおいて老朽化に起因して多発する不具合などにそれぞれ適切に対応し、利用者の利便性を損なわないよう対応することができた。</p> <p>・人気周辺施設への観光客も含め、来館者が増えたことによる、案内業務や不審者の増加に対して、適切に対応し、館内の治安維持に努めた。</p> <p>・法令に則り、適正な維持管理を実施することができた。</p>	<p>・センターは、開館から約17年が経過し経年による設備不良なども見られている。そのため、施設設備の故障や破損の早期発見と、速やかな初期対応が一層求められる。引き続き、所管局との情報共有を徹底し、利用者の安全確保に取り組んでいただきたい。</p> <p>・適切に取り組みされている。再委託業務については、受託業者との連携を密にして引き続き、適切な施設・設備の維持管理に努めていただきたい。</p> <p>また、施設周辺の環境の変化に伴い、来館者数等にも変化がみられることからその点についても留意し、警備業務受託者等との情報共有に努めていただき、館内の治安維持に努めていただきたい。</p> <p>複合施設であることから、複合施設内4施設の防災意識の共有は不可欠であるため、4施設合同での防災訓練は非常に評価できる。今後も、定期的に行う</p>			

	<p>▼ 防火防災管理や自衛消防業務として、専門的な資格取得に努めた。また、多くの職員がAEDの使用、応急処置ができるよう、普通救命講習を実施した。</p>	<p>・他施設と合同の訓練を実施することにより、情報共有と災害発生時の対応力向上を図ることができた。また、他施設職員との共通意識を高め、生涯学習総合センター内の連携強化を図ることができた。</p>	<p>ことで、防災意識の共有と向上、複合施設内での連携強化に取り組んでいただきたい。</p>								
<p>(4) 事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 生涯学習に関する学習機会の提供業務</p> <p>① さっぽろ市民カレッジ</p> <p>▼ 年3期(平成28年4～8月、9～12月、平成29年1～3月)に分け、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系の3つの系で幅広い年齢層に対応して実施した。 【実績】 受講者4,888名(計画4,710名)297講座実施</p> <p>▼ 【センター企画講座】 学んだ成果を生かして社会参加につなげる「楽しく歌ってボランティア」「やさしさを写真で表現～こっそりカメラボランティアに挑戦～」などを実施した。</p> <p>まちづくりについて考えるきっかけとして、様々なアプローチでエゾシカとの共存について学ぶ「おいしいエゾシカ学」や水質保全事業の要となる導水トンネルの工事現場を見学し現場で従事している専門家からの話を聞く「水を運ぶ！トンネルプロジェクト」を土木学会北海道支部と連携して実施した。</p> <p>ビジネスの場で作業効率をあげるための手法を学ぶ「自分の思考から知る整理整頓の術！」やリーダーの「あり方」の本質を学ぶ「究極のリーダーシップ」といったビジネスパーソン向けの講座を、始業前の朝の時間帯に都心部のカフェで実施した。</p> <p>中学・高校の学習内容を学び直す「学び直しシリーズ・もっと知りたい！政治経済」や、ゆりかごコンサートと連動した子育て支援に関する「新米パパのベビーマッサージ」など、今日的な課題に対応した講座を実施するなど、内容の工夫を行った。</p> <p>民間企業と連携しそれぞれの企業の特性を生かした「森の学校」「ミルクの秘密探検隊」「子どもラーメン道場」を実施し、学習機会の提供を図るとともに、企業の社会貢献の支援を行った。</p>	<p>・市民の多様なニーズに応え、現地学習や実習を取り入れた講座を積極的に実施し、受講者の理解度と満足度を高めることができた。</p> <p>・開講時間や会場を工夫したことで、これまで受講が難しかったビジネスパーソンにも学習機会を提供することができた。新規受講者の獲得につながることができた。</p> <p>・企画の幅を広げたことで、時代の変化に対応した講座を実施することができた。</p> <p>・民間企業と連携し、それぞれの企業の特性を生かした講座を実施したことで、講座の内容の充実を図ることができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>・市民カレッジについて、昨年に比べると実施講座数、受講者数ともに減となったが、要求水準(120講座、3,000人)を達成し、また、新規受講者の獲得につながる取組や民間企業等との連携など、内容の充実が図られている点は評価できる。</p> <p>今後は、PDCAサイクルに則り、評価検証を十分に行い、受講者目線での講座企画に磨きをかけていただきたい。</p> <p>また、さっぽろ市民カレッジが、まちづくりの担い手育成及びまちづくりの促進を目指す事業である以上、学んだ成果がどう生かされるのか、という視点を意識した講座づくりが求められるため、その視点を欠かさずに講座内容を充実させていっていただきたい。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>・市民カレッジについて、昨年に比べると実施講座数、受講者数ともに減となったが、要求水準(120講座、3,000人)を達成し、また、新規受講者の獲得につながる取組や民間企業等との連携など、内容の充実が図られている点は評価できる。</p> <p>今後は、PDCAサイクルに則り、評価検証を十分に行い、受講者目線での講座企画に磨きをかけていただきたい。</p> <p>また、さっぽろ市民カレッジが、まちづくりの担い手育成及びまちづくりの促進を目指す事業である以上、学んだ成果がどう生かされるのか、という視点を意識した講座づくりが求められるため、その視点を欠かさずに講座内容を充実させていっていただきたい。</p>			
A	B	C	D								
<p>・市民カレッジについて、昨年に比べると実施講座数、受講者数ともに減となったが、要求水準(120講座、3,000人)を達成し、また、新規受講者の獲得につながる取組や民間企業等との連携など、内容の充実が図られている点は評価できる。</p> <p>今後は、PDCAサイクルに則り、評価検証を十分に行い、受講者目線での講座企画に磨きをかけていただきたい。</p> <p>また、さっぽろ市民カレッジが、まちづくりの担い手育成及びまちづくりの促進を目指す事業である以上、学んだ成果がどう生かされるのか、という視点を意識した講座づくりが求められるため、その視点を欠かさずに講座内容を充実させていっていただきたい。</p>											

▼ 【ちえりあ学習ボランティア企画講座】  
講座やイベントを企画・運営をする「ちえりあ学習ボランティア」がアート班、歴史班、社会・環境班、札幌学班、健康班の5つの班に分かれて、それぞれのテーマで15講座実施した。

▼ 【ご近所先生企画講座】  
「市民の学び合い」をコンセプトに、市民の学習成果の活用を図りながら、地域における新たな学習コミュニティづくりを進める目的で実施した。

▼ 【学社融合講座】  
学校教育と社会教育が企画段階から連携(融合)し、市立札幌大通高校において、市民と生徒が共に学び合う講座を実施した。講座を修了した生徒は、大通高校の卒業に必要な履修単位として認定された。

・ご近所先生企画講座のサークル化を促し、受講者の繋がりを継続させることができた。

・学社融合講座においては、プログラムの工夫等により、市民と高校生の学び合いにより世代間交流・異年齢学習を進め、互いに学習意欲を高め合うなど良い成果を上げることができた。

・ボランティアに講座を企画運営する機会と場所を提供するという、市民による学びの場づくりを支援する取組となっていることは評価できる。今後も市民参画の視点を取り入れながら事業を充実させていきたい。

・ご近所先生企画講座については、地域の人材の掘り起こしと新たな生涯学習活動の担い手の育成につながっており非常に評価できる取組である。また、区民センターなどの市民に身近な施設に学びの場を広げている点も評価できる。

今後は、育成した市民講師の活躍という観点で、市民講師バンクとの連携を意識した事業展開を期待する。

・学社融合講座において、ご近所先生企画講座で育成した市民講師が活用されていることは評価できる。また、幅広い年齢層に対応した講座づくりが徹底されている点も非常に評価できる。

アンケート等により、それぞれの世代が学社融合講座に求めているものを把握し、それぞれの世代にとって有意義な学びの場となるようさらに内容の充実に努めていきたい。



②学習支援者活用推進事業

- ▼ さっぽろ市民カレッジ受講修了者が講師となる講座を設けるなど、様々なかたちで学んだ成果の活用を図った。
- ア 市民講師育成(ご近所先生)  
ご近所先生企画講座を開こうとする市民を対象に、講師としての資質向上やスキルアップを図るため、研修会と交流会を内容の充実を図りながら実施した。また、地域での活動を支援するため、「ちえりあ市民講師バンク」への登録を促し、各種事業での活動の場を紹介した。  
【実績】研修会4回169名 交流会1回37名
- イ メディアボランティア・オンデマンド  
視聴覚教育に精通する教員OBで構成されるメディアボランティア「オンデマンド」に、16ミリフィルム及び映写機の使用方を一般市民に伝える講習会の場を提供するなどして、活動を支援した  
【実績】登録者7名  
16ミリフィルム講習会2回6名
- ウ 市民ファシリテーター  
市民ファシリテーター養成講座修了者に実践活動に必要な知識やノウハウを学ぶ機会を提供し、同講座の補助講師を務めてもらった。  
【実績】登録者3名
- エ ちえりあビデオクルー  
映像メディア講座受講生で結成されたグループに、センター事業、地域の活動・行事、自然風景などのビデオ撮影・編集を依頼し、センターのホームページで作品を発信した。また、映像メディア講座の講師を務めてもらった。  
【実績】登録者22名
- オ コーラスボランティア  
「楽しく歌ってボランティア」講座修了者で結成されたグループに同講座の運営補助を務めてもらった。また、施設慰問コンサートを実施した。  
【実績】登録者「コスモス」10名、  
「プリティボイス」14名、計24名
- カ カメラボランティア  
写真の撮影技術や知識を学ぶ講座の修了生がつくるボランティアサークルに対して撮影の場を提供するとともに、広報誌等に活用させてもらうなどした。  
【実績】登録者「ハピネス」8名  
「you快」5名 計13名

・ご近所先生が、他の社会教育施設、市民団体等の講師として活動するなど、学びを通して市民の社会参加を促進することができた。

・市民一人ひとりの知識や経験を生かす「学びと実践のサイクル」が進み、学びを通して市民の社会参加を促進することができた。  
・講座内容は実施のたびにブラッシュアップしており、アンケート結果からも受講者の好評を得ることができた。  
・開講後には、視聴覚センターのフィルム教材の新たな利用や、他の生涯学習施設での16ミリ映写機の活用の動きに結びつくよう努めた。

・講座やセンター事業・福祉施設慰問コンサート等の記録撮影を依頼し、活躍の場を提供することができた。

・学習支援者に活動の場を提供し、学習支援者が受講者のサポートをすることにより、講座内容と運営の充実、市民参加の促進を図ることができた。

・育成した人材を活用することで、市民の学習成果の活用を図ることができた。

・市民講師育成(ご近所先生)では、研修と面談による育成プログラムや講師交流会を実施するにあたって、講師同士の学び合いの要素が取り入れられており、学びによるつながりづくりが進められていることは評価できる。

・定番の講座であっても、時代の変化や時事性を取り入れるなど、講座に「現在性」を持たせることは非常に大切な取組である。実施のたびに内容を見直していくという姿勢は評価できるため、今後も徹底していただきたい。

・育成した人材がどこで、どのように活躍できるのかという「出口」を意識した事業の展開がより一層進んでいくよう期待する。

③生涯学習関連施設職員研修事業



区民センター、地区センターなど生涯学習活動支援に関連する施設職員の資質向上を図るため、事業の企画立案や広報などに必要な知識やノウハウを身につける研修を実施した。(2月8日、17日)  
【実績】20施設42名

・時代の変化に伴い、求められる研修の内容も変わっていくと考えられるため、事前にニーズの確認を徹底し、より一層内容の充実に向けていただきたい。

④生涯学習ボランティア育成事業



さっぽろ市民カレッジ講座の企画・運営に当たる「ちえりあ学習ボランティア」と、視聴覚教育にかかわるグループ「オンデマンド」に、活動の場と機会を提供し、ボランティアとしての資質や能力の向上を図った。  
【実績】「ちえりあ学習ボランティア」登録者55名  
「オンデマンド」登録者7名

・育成した人材を活用することで、市民の学習成果の活用を図ることができた。

・ボランティアに講座の企画・運営という活動の場を提供し、市民による学習機会の提供を支援する取組となっており評価できる。

⑤インターンシップの受入れ



職場体験の実習生を受け入れ、市民カレッジの企画、立案、運営などを体験する場を提供した。

手稲東中学校 5名、北海学園大学 11名、北海道大学 2名、北翔大学 1名、札幌市立大学 1名、豊明高等養護学校 1名、稲積中学校 3名、大阪市立鶴見商業高校 3名

・高等教育機関等と連携し、学生の就業観や就労意欲を高めることができた。

・生涯学習に関する人材育成の観点から、インターンシップ制度の実施は評価できる。学び合いという視点で双方にとって有意義な取組であり続けるよう期待したい。

・学生への指導を通して担当職員のスキル向上に繋げることができた。

▽ 生涯学習に関する調査、研究、企画立案及び啓発に関すること。



全国の事例を集め、札幌市にふさわしい生涯学習情報の収集方法及びウェブサイトの形態を検討し、ウェブサイトのデザインや運営方法について提案する報告書をまとめた。本調査は2カ年で行うもので、1年目の研究報告である。

・各地のポータルサイトの調査を行い、札幌にふさわしい「生涯学習ポータルサイト」のデザインや運用方法を提案できた。

・急速な情報化の進展により、人々が情報を得る手段が多様化していることを踏まえると、情報の収集と発展についての調査研究は、時代にあったものであると評価できる。

・なお、このサイトを実際に運営する前に、より費用対効果を上げるための方策についての更なる調査研究を要する。

紙媒体等他の広報媒体との比較や、ポータルサイトを使用する対象に関する調査など、調査研究の余地は残されているため、さらに内容の充実した調査研究事業となるよう期待する。

▽ 生涯学習に関する情報の収集及び提供並びに相談に関すること。

①メディアプラザ運營業務

▼ 広く学習相談に応じるとともに、生涯学習に関する資料の収集と貸出しや資料紹介などのレファレンスサービスを通じて、学習活動の支援を行った。市民ニーズを踏まえ、メディアプラザの蔵書を札幌市図書館でも貸出・返却できるよう、札幌市図書館とのシステム統合を進め、10月27日からサービスを開始した。

ア 図書閲覧・貸出し

生涯学習に役立つ図書の閲覧と貸出しを行った。札幌市図書館とのシステム統合のため、9月1日から10月26日までメディアプラザで所蔵している図書の貸出し・閲覧を中止し、10月27日からサービスを再開した。札幌市図書館蔵書の取次サービスにも対応した。

【実績】入場者数208,855名

利用者数59,927名

※9/1～10/26図書・CDの貸出・閲覧休

止

※平成29年1月～3月入場者数計59,238

名

前年比約115%増

イ 音楽・語学教材・映像の視聴

クラシックを中心とした音楽教材などを所蔵する図書館として、音楽・映像・語学教材(保有数28,931点)を館内での視聴に供した。また、CD(保有数約1万2千点)の館外貸出しを実施した。札幌市図書館とのシステム統合準備のため9月1日から10月26日までCDの貸出し・視聴を中止し、10月27日からサービスを再開した。過去に実施した特集やコンサートの資料を展示するコーナーを設けるなどし、貸出数の増加に繋がった。

【実績】音楽1,160件(館内)

映像4,184件(館内)

語学3件(館内)

※札幌市図書システム統合後統計方法変更

ウ 学習相談・サークル活動支援

メディアプラザでの学習相談を始め、生涯学習に関する相談に幅広く対応するとともに、「ちえりあ市民講師バンク」に登録している講師や、サークル活動の内容を紹介するなど、市民の学習活動に役立つ情報を提供した。

あわせて、「ちえりあサークル」に登録している団体の情報をまとめた「サークルガイド」を配布した。

【実績】メディアプラザ学習相談件数309件

サークル登録数152件

【実績】センター全体での学習相談件数13,803件

(1) 講座内容等の問い合わせ:468

(2) 施設の紹介:1,459

(3) 講師の紹介・登録:37

(4) サークルの紹介:272

(5) レファレンス(図書・視聴覚):1,181

(6) その他(他施設の案内など):525

(7) メディアプラザ以外での学習相談:9,861

・札幌市図書館とのシステム統合後はメディアプラザの入場者数が増大した。

・CD、DVD、LPなどの音楽・視聴覚教材レファレンスやさっぽろ市民カレッジと関連する図書のレファレンスに努めることができた。  
・資料を単に配架するだけでなく、特集を組み展示方法を工夫することで貸出数が増えるなど、さらなる利用促進を図ることができた。

・システム統合の効果はどの様に表れているかについては長期的にも分析していく必要があるが、システム統合というハード面の利便性向上とともに、レファレンス業務などのソフト面についてもより一層充実されることを期待したい。

・市民の多種多様な学習ニーズに応え、学習相談に応じるとともに、生涯学習に関する資料の収集や紹介などのレファレンスサービスを通じて、学習支援を積極的に行うことができた。  
・「ちえりあ市民講師バンク」の利用実績が少ないことから、各種団体へのPRなどを強化するなどし実績増に繋がっていきたい。

・時代の変化に伴い、学習相談窓口にも変化していると考えられる。  
今後はメディアプラザで行われている情報収集、情報発信の在り方と併せて、効果的な運用方法を検討していただきたい。

## ②生涯学習情報誌の発行

- ▼ 行政機関、大学、民間カルチャーセンターなどで実施している講座の情報をまとめ、市民に提供する冊子を発行した。今年度からは情報提供を呼びかける施設数を増やし、冊子内に添付した二次元バーコードによりスマートフォンなどで各情報提供元のホームページに手軽にアクセスできるようにした。  
【実績】2回発行(6月、11月)  
各回3,000部

## ③子どもの学びガイドの発行

- ▼ 学校休業日に市内公共施設で開かれる子ども向け事業を紹介する案内チラシを発行し、市立小学校の全児童に配布した。今年度からは、夏休み前と冬休み前に2号ずつ発行し、チラシ内に添付した二次元バーコードにより、スマートフォンなどで各情報元のホームページに手軽にアクセスできるようにした。  
【実績】4回発行(6月、7月、11月、12月)  
各回93,000部

## ④ホームページの活用

- ▼ 講座やイベントなどの情報提供のほか、ちえりあビデオクルーが撮影した動画を配信するなどして、センターの事業を紹介した。また、12月にHPリニューアルを行い、「見やすさ」「使いやすさ」「探しやすさ」の向上、「便利で役立つ」情報提供を図った。  
【実績】ホームページアクセス数1,097,394件  
メールマガジン配信16回  
メールマガジン登録者2,814名

・新たに二次元バーコードを掲載したことで、スマートフォンなどで各情報提供元のホームページに手軽にアクセスできるようにし、読者の利便性を高めることができた。

・所管局としては重点業務と見ているので、本市における生涯学習の中核施設として、情報収集及び提供を積極的に行っていたきたい。

・情報を受け取る方法について、選択の余地を広げることがは市民にとっても有意なことである。  
さらに良い取組となるよう見直しを図り、市民が手に取りたいと思える情報誌となるよう内容の充実を努めていたきたい。

・今年度から、夏休み前と冬休み前に発行時期を集中させ、情報掲載を呼び掛ける施設数を増やしたところ、昨年度より多くの記事を掲載することができた。  
・新たに二次元バーコードを掲載したことで、スマートフォンなどで各情報提供元のホームページに手軽にアクセスできるようにし、読者の利便性を高めることができた。

HPリニューアルを行い、「見やすさ」「使いやすさ」「探しやすさ」の向上、「便利で役立つ」情報提供を図ることができた。  
また、専門知識を持たない職員でも容易にHPの更新及び管理が可能となったことで、常に最新の情報提供を行うことができた。

・生きた情報を提供する取組の徹底は評価できる。ホームページへの画像や動画の掲載など、事業の様子が一目でわかる情報発信の方法を充実させるよう努めていたきたい。

⑤生涯学習センター広報誌の発行

- ▼ 生涯学習センター主催事業や講座及び施設の情報などを提供する広報誌「ら・ちえりあって」を発行し、公共施設などに配布した。  
【実績】6回発行  
(5月、7月、9月、11月、1月、3月)  
各回12,000部

・多くの市民にタイムリーかつ分かりやすくセンターの情報を提供することができた。

・見やすく内容も充実している。今後も市民目線で内容の伝わりやすさを意識した広報誌づくりを期待する。

▽ 生涯学習に関する事業を行う団体との連携及び交流の支援に関すること。

①連携講座の実施

さっぽろ市民カレッジにおいて、社会のニーズに応じた専門的かつ高度な知識経験を有する機関と連携した。

- ▼ 【実績】(公社)落語芸術協会(1講座実施)  
(一社)エゾシカ協会(1講座実施)  
土木学会北海道支部(1講座実施)  
札幌市立大学(3講座実施)  
北海学園大学(1講座実施)  
北海道教育大学(4講座実施)ほか

・センターが持つ事業の企画運営のノウハウを生かし、関係機関と連携して市民に専門性の高い講座を提供することができた。

・生涯学習関連団体との連携により、専門性の高い講座を提供する取組は評価できる。今後は市の関係部局との連携も視野に入れ、市政に寄与する事業展開を図っていただけるよう期待する。

②市立札幌大通高校との学社融合講座の実施

- ▼ さっぽろ市民カレッジの一部講座を校内で実施し、市民と高校生が共に学ぶ新たな学びの場を創出した。

・学社融合講座では、現地学習や実習等を通して、高校生と一般市民の学びの交流を一層深めることができた。

・学社融合講座において、ご近所先生企画講座で育成した市民講師が活用されていることは評価できる。また、幅広い年齢層に対応した講座づくりが徹底されている点も非常に評価できる。

- ▼ ご近所先生企画講座で育成した人材を積極的に活用した。  
【実績】開講数29講座

アンケート等により、それぞれの世代が学社融合講座に求めているものを把握し、それぞれの世代にとって有意義な学びの場となるようさらに内容の充実に努めていきたい。

### ③各区との連携事業の実施

- ▼ センターのノウハウやネットワークを生かし、区役所等と連携してまちづくりの推進に寄与する事業を実施した。
  - ア 西区より以下の業務を受託し、自主事業として実施した。
    - ・西区役所から委託され、高齢者対象の「西区ときわ大学」を全15回のカリキュラムで実施した。ご近所先生を講師として活用するなど、市民による学び合いを推進した。  
【実績】15回50名
  - イ 東区より以下の業務を受託し、自主事業として実施した。
    - ・東区役所から委託され、高齢者対象の「東区年輪大学」を全16回のカリキュラムで実施した。ご近所先生を講師として活用するなど、市民による学び合いを推進した。  
【実績】16回35名

講座を通じて卒業後に同期会が発足した。高齢者が外に出るきっかけづくりに繋げることができた。

・本市の生涯学習施策を進めるうえで、区役所を含む、市民にとって身近な施設での事業の展開が求められているため、今後も取組の充実を図っていただきたい。

### ④民間企業との連携講座の実施

- ▼ アサヒビール(株)北海道工場、雪印メグミルク(株)北海道統括支店、東洋水産(株)と連携し、それぞれの企業の特性を生かした講座を実施し、企業の社会貢献活動に協力した。  
【実績】7回112名

・民間企業と連携した講座を実施することで、講座の内容の充実を図ることができた。また、企業の社会貢献を支援することができた。

・民間企業と連携し、講座内容を充実させるとともに、企業の社会貢献の支援となったことは評価できる。

### ▽ 生涯学習に関する市民の自主活動及び交流の支援業務

#### ①ちえりあフェスティバル

- ▼ ちえりあの開館(平成12年8月)を記念して、館内の4施設(生涯学習センター、宮の沢若者活動センター、教育センター、リサイクルプラザ宮の沢)が共同で、生涯学習活動に気軽に触れることができる多数のイベントを行い、幅広い年代層の市民に対して生涯学習の普及啓発を図った。

- ▼ サークル活動、講座の体験や視聴覚教材を活用した事業など、センターが有する事業のノウハウや所有する教材を活用したイベントを多数実施し、好評を得た。また、タイトルロゴデザインを公募するなど、市民参加型の要素も取り入れながら事業を展開した。

【実績】12,857名(2日間)

・ちえりあ学習ボランティアが主体的に参画するなど、市民の日ごろの学習成果の発表の場を設けることができた。

・各施設の利用者層が異なることから、それぞれの施設の利用者がそれぞれの学びの成果に触れ、交流する機会を提供することは有意義な取組である。

今後もちえりあ内の4施設を始めとする関係機関と連携し、多様な人材を活用しながら、市民が生涯学習に対して興味・関心を持つきっかけとなる取組とするとともに、学習成果発表の場、施設のPR等の場となるよう期待したい。

## ②サークル発表会

- ▼ ちえりあや市内各施設を拠点に活動している団体が学習成果を披露する場を提供することにより、活動意欲の向上及び活動の活性化を図るとともに、市民のサークル活動への興味・関心を高めることに役立てた。

### 【実績】

(展示部門) 参加16団体(7日間)

(舞台部門) 参加57団体、  
観覧者2,059名(3日間)

・サークル参加者の活動意欲の向上を図るとともに、市民への鑑賞の場を設け、サークル活動や学習活動に対する興味・関心を高めることができた。

・学ぶことを通して、人と人とのつながりを育み、生活を豊かにしていくことが、生涯学習の役割の1つであることから、学習成果の披露を通して、生涯学習に関わる市民の交流の場所として機能していることも評価できる。

## ③アートウォール作品展示

- ▼ ロビーの壁面を活用し、市民から募集したアート作品の展示を行うことで、芸術活動に取り組む市民に発表の場を提供するとともに、来館者にアート作品鑑賞の機会を提供した。

### 【実績】11作品展示

・出展者の多くから、制作活動や作品発表の意欲が増したとの意見をいただいております、市民の学習支援に繋げることができた。

・出展した後の効果として、サークルへの問い合わせが増え、新規加入者の増加につなげることができた。

## ▽ 学習成果の発表及び鑑賞の支援に関すること。

### ①ちえりあフェスティバル(再掲)

- ▼ ちえりあの開館(平成12年8月)を記念して、館内の4施設(生涯学習センター、宮の沢若者活動センター、教育センター、リサイクルプラザ宮の沢)が共同で、生涯学習活動に気軽に触れることができる多数のイベントを行い、幅広い年代層の市民に対して生涯学習の普及啓発を図った。

### 【実績】12,857名(2日間)

・ちえりあ学習ボランティアが主体的に参画するなど、市民の日ごろの学習成果の発表の場とすることができた。

・学習成果の発表の機会を設けることは、生涯学習事業を行う上で重要な取組であることから、今後も市民の学んだ成果を発表し、共有できる場所として、事業が展開されていくことを期待する。

### ②サークル発表会(再掲)

- ▼ ちえりあや市内各施設を拠点に活動している団体が学習成果を披露する場を提供することにより、活動意欲の向上及び活動の活性化を図るとともに、市民のサークル活動への興味・関心を高めることに役立てた。

### 【実績】

(展示部門) 参加16団体(7日間)

(舞台部門) 参加57団体、  
観覧者2,059名(3日間)

・サークル参加者の活動意欲の向上を図るとともに、市民への鑑賞の場を設け、サークル活動や学習活動に対する興味・関心を高めることができた。

### ③幼稚園児のお絵かき展

- ▼ 一般社団法人札幌市私立幼稚園連合会の協力のもと、幼稚園児の活動発表の場としてロビーで作品展を開催した。期間中は園児やその家族が来館し、楽しそうに展示作品を眺めるなど館内に明るい賑わいが創出された。

### 【実績】参加 12園1,813作品

・期間中は普段来館することが少ない園児やその家族が来館し、楽しそうに展示作品を眺めるなど、館内に明るい賑わいを創出することができた。

#### ④ちえりあロビーコンサート

- ▼ 市内や近郊で音楽活動に取り組んでいる個人、団体から出演者を公募し、音楽活動の発表の場を提供するとともに、市民に演奏を気軽に聴いてもらう機会を提供した。  
【実績】参加12団体 観覧者1,428名

・毎回100名ほどの来場者があり、市民に音楽鑑賞の場を定着させることができた。

・出演者からは、人前で演奏することにより技術向上にもなっているなどの感想もあり、市民の活動意欲向上に繋げることができた。

#### ▽生涯学習センターの施設の使用に供すること。

##### ①貸室事業

- ▼ 市民の学習活動の場として、ちえりあホール及び各種研修室を提供した(有料)。申込時の利用者の利便性を高めるため、新たな貸室受付システムを9月より本格的に導入した。

・貸室受付システムを改修したことにより、データ登録による利用申し込みが可能となったことで、手続が簡素化でき、受付を円滑にすることができた。

利用者の利便性向上への取組については非常に評価できる。今後も利用者目線での事業の展開を期待する。

##### ②施設の有効活用

- ▼ ロビー及びギャラリーを市民の学習成果の発表の場として提供した。

(ロビー)  
・毎月のようにイベントや展示を実施しており、学習成果発表の場となっており、施設内の賑わいにつながっている。

(ギャラリー)  
・立体的な作品も展示できることから毎年使用する団体や年に2回使用する利用者もおり、好評を得ている。

学習成果を発表し、他者と共有できることは、生涯学習の推進のためには欠かせない要素であるため、引き続き施設の有効活用に努めていただきたい。



▽ その他生涯学習センターの設置目的を達成するために必要な事業。

①ちえりあ学生寄席

▼ 「ちえりあ寄席」の舞台を活用し、北海道大学落語研究会が企画・出演・運営する「ちえりあ学生寄席」を「ちえりあ寄席」の前夜祭として無料で実施した。(7月31日、9月28日)  
【実績】169名

②落語学校観賞会

▼ 公益社団法人落語芸術協会と連携し、日本の伝統芸能である落語の楽しさや奥深さに触れてもらうため、中央区、西区、手稲区の小学校10校を無料招待し、鑑賞会を実施した。(7月4日～5日)10校:西野小、手稲東小、山の手南小、西小、西園小、発寒西小、中央小、資生館小、緑丘小、二条小(4公演1,320名)

③カルチャーナイト

▼ 夜間、公共施設などを開放し、文化活動の発信を通じて、市民の地域文化への関心を高めるとともに、新しい地域文化の創造と発展を図る「カルチャーナイト」に実行委員として参画し、「アンモナイトのレプリカをつくろう!」を開催した。(7月22日)  
【実績】150名

④ちえりあオペラシアター

▼ 生涯学習センター所蔵のDVDを活用し、上映と専門家の解説を組み合わせた講座を実施し、世界一流のオペラを鑑賞するとともに、オペラに関する幅広い知識を学ぶ機会を提供した。  
【実績】6回886名

⑤ちえりあ映像フェスタ

▼ 北海道や札幌をテーマに市民から公募した映像作品の上映会にあわせて、コーディネーター(北海道教育大学教授/伊藤隆介氏)による講評を行い、地域の魅力について考えるきっかけとした。(3月4日)  
【実績】応募15作品、来場者118名  
※過去の応募作品はメディアプラザにDVDとしてアーカイブされており、来館者がいつでも視聴することができる体制が整っている。

・落語などの芸術文化を学ぶ学生に成果を発表する機会を提供するとともに、市民が気軽に落語に触れる場を提供することができた。

・解説と合せた体験プログラムにより、子どもたちに落語の楽しさと表現力の多様さを伝えることができた。

・ロビーで開催することにより、他のイベントでできていた来場者の参加を促し、平成27年度より参加者数を増やすことができた。

過去最大の受講者数となった。受講者からは好評を得ており、リピーター参加者も多く、オペラの普及振興に寄与することができた。

・専門家による講評、来場者の感想のフィードバック、制作者同士の交流会といったフォロー体制により、応募者の制作意欲をかき立て、リピーターの増加に繋げることができた。

・音楽や映像、落語などの伝統芸能など多様な文化や芸術に触れる機会を提供する取組については、市民が生涯学習に関心を持つきっかけづくりとしては評価できる。これらの取組が各世代の生涯学習のきっかけとなり、生涯学習社会の発展に寄与することを期待する。

・ちえりあ映像フェスタについて、幅広い年齢層による発表が行われ、また、自分たちの暮らす地域を他人の視点から見つめ直すきっかけとなる取組として評価できる。  
今後も、多世代交流の機会、地域の見つめ直し、そして学習成果の共有の場として事業が展開されることを期待する。

## ⑥ちえりあ映画会

- ▼ センター所蔵の映像教材の活用と市民に映画を楽しむ機会を提供するための「ちえりあ映画会」を行った。ボランティア団体「ムービー北海道」の協力を得て、視聴覚障がい者も鑑賞ができるように副音声付きの作品や字幕付きの作品も上映した。また、5月24日の親子映画会「うごくえほんチルビーであそぼ」では、札幌市えほん図書館とコラボし、作品上映のほか、読み聞かせ、クイズなどを行い子どもたちから好評を得た。夏休みと冬休みの期間には子ども向け作品を上映した。

【実績】21回(内ちえテラス8回)3,588名(大人向け9回2,574名、子ども向け4回923名、ちえテラス映画会8回91名)

## ⑦ちえりあCDコンサート

- ▼ センター所蔵のCDと再生機器を活用し、良質な音響環境で音楽に親しむ場を提供するとともに、メディアプラザの貸出しCDの利用促進を図った。具体的にはクラシックの他にジャズなどを取り上げることで、新規の参加者を獲得した。札幌市図書館とのシステム統合後、10月27日のメディアプラザ再オープンの際には、クラシックとジャズを取上げたCDコンサートを開催するとともに、Chie Terrace(ちえテラス)オープン記念イベントとして「ミニCDコンサート」などを開催し、利用促進に繋げた。

【実績】22回(内ちえテラス8回)463名

## ⑧ゆりかごコンサート

- ▼ 子育て中の親とその子どもに気軽に音楽を楽しんでもらえるよう、乳幼児の声や動きをあまり気にせず鑑賞できるコンサートを開催した。

【実績】2公演425組850名

8月20日 出演:打楽器アンサンブル

coup de bagutte 参加138組276名

12月22日 出演:あみゆぜ。 参加287組574名

・センターが所有する資料を市民に広く紹介するとともに、ホール機能やちえテラスの機能を有効に活用できた。  
・来場者アンケートでは、上映会自体に加え、ボランティア団体が邦画で実施する副音声ガイドへの評価が高い。  
・映画の鑑賞による生涯学習意欲の喚起から一歩進んだ、学習活動への動機づけに繋げる工夫として、上映前に視聴覚教材を上映し、市民の自発的活動を促すための情報を発信し啓発することができた。

・わかりやすいなかにも専門性を持たせた配布資料の作成や、クラシック以外のジャンル(ジャズ)を取り上げたことなどにより、新たな参加者を呼び込むことができた。関連するCDや図書を紹介することにより、メディアプラザでのCDや図書の貸出し数増加に繋げることができた。

・リピーターの多さ、アンケートの満足度の高さなどから、乳幼児連れの親たちが気兼ねなく参加し、親子で音楽に親しむことができる場を提供することができた。

・ゆりかごコンサートは子育て中の親のニーズを捉えた取組であり、このような各世代のニーズにあった学びの場を充実することは重要な取組である。事業の実施とともに、併せて実施したアンケート分析等も進め、今後の事業展開にも生かしていただけることを期待したい。

	<p>⑨ちえりあ講演会</p> <p>▼ 生涯学習活動の普及啓発を図るとともに、さっぽろ市民カレッジをはじめとする事業のPRを図るため、市民が興味関心を持つテーマの対談形式による講演会を開催した。(8月21日) 【実績】臼井栄三氏、久保俊哉氏「世界の短編映画が世の中の見方を変える」受講者180名</p> <p>⑩北海道吹奏楽フェスティバル</p> <p>▼ 若手プロ奏者たちによる演奏会に合わせて、小・中学校・高校・大学の吹奏楽部に公開レッスンをを行うレクチャーコンサートを開催して、吹奏楽活動を支援し、その普及を図った。(1月22日、1月29日) 【実績】2公演977名</p>	<p>・対談の中で、生涯学習の重要性やこうした講演会をちえりあがやる意味を講師が話すなど、生涯学習のきっかけとなるメッセージを伝えることができた。</p> <p>・参加団体が、小学校、中学校、高校、大学にまで広がり、新たな交流が図られた。 ・サポートした団体がコンクール上位に入賞するなど成果が出ている。 ・ちえりあホールの使いやすさや音の響きのよさの評判が広がり、吹奏楽団体の使用が増えたことから貸室事業への実績にも繋げることができた。</p>									
(5)施設利用に関する業務	<p>▽ 利用件数等 別添のとおり</p> <p>▽ 不承認 0件、 取消し 86件、 減免 1,877件、 還付 63件</p> <p>▼ 前年度に引き続き全体の貸室利用率が80%を超えた。</p>	<p>・貸室受付システムを改修したことにより、データ登録による利用申し込みが可能となったことで、手続が簡素化でき、受付を円滑にすることができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>・貴財団が、本指定期間中の目標とした貸室利用率79.9%を複数年にわたって達成していることは非常に評価できる。 今後も、利用者の利便性の向上に努めていきたい。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>・貴財団が、本指定期間中の目標とした貸室利用率79.9%を複数年にわたって達成していることは非常に評価できる。 今後も、利用者の利便性の向上に努めていきたい。</p>			
A	B	C	D								
<p>・貴財団が、本指定期間中の目標とした貸室利用率79.9%を複数年にわたって達成していることは非常に評価できる。 今後も、利用者の利便性の向上に努めていきたい。</p>											

(6)付随業務	▽ 広報業務		A	B	C	D
	<p>▼ 広報誌の発行(再掲)</p> <p>生涯学習センター主催事業や講座及び施設の 情報などを提供する広報誌「ら・ちえりあって」 を発行し、公共施設などに配布した。 【実績】6回発行 (5月、7月、9月、11月、1月、3月) 各回12,000部</p> <p>▼ ホームページの活用</p> <p>講座やイベントなどの情報提供のほか、ちえり あびデオクルーが撮影した動画を配信するなど して、センターの事業を紹介した。 また、12月にHPリニューアルを行い、「見やす さ」「使いやすさ」「探しやすさ」の向上、「便利で 役立つ」情報提供を図った。 【実績】アクセス数:1,097,394件 (前年度差 120,268件減)</p>	<p>・多くの市民にタイ ムリーかつ分かり やすくセンターの情 報を提供することが できた。</p> <p>HPリニューアルを 行い、「見やすさ」 「使いやすさ」「探 しやすさ」の向上、 「便利で役立つ」情 報提供を図ることが できた。 また、業者に委託し なくても職員が直接 ホームページの更 新及び管理ができ るようになったこと で、常に最新の情 報提供を行うことが できた。</p>				<p>・施設の利用促進 を図るためには、 市民への適切な 情報提供が不可 欠である。 HPのリニューア ルをきっかけとし て、画像の掲載 や、さらに詳細な 講座情報を提供 することなどによ り、HPの有効活 用を図っていただ きたい。</p>
	▽ 引継ぎ業務					
	<p>▼ 各事業の資料(起案、報告書)等を必要年数保 管し、後続の担当者が円滑に業務を引き継げ るようにした。</p>					

2 自主事業その他

▽ 自主事業	A	B	C	D
<p>①ちえりあ寄席</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 公益社団法人落語芸術協会と連携した。</li> <li>▼ 本格的な寄席を鑑賞する機会を提供するため、寄席囲いをしつらえた舞台上、真打はもとより、道内で唯一、前座、二つ目、色物も出演する寄席を公益社団法人落語芸術協会と連携し行った。主な出演者は春風亭昇太、三遊亭小遊三、春風亭昇々ほか(9月29日～10月2日) 【実績】6公演1,930名</li> </ul>	<p>ホールなど、施設を有効活用することで、事業を通じて施設PRに繋げることができた。</p>			<p>・幅広い世代の市民を対象にした事業が行われており、施設のPRが図れていることは評価できる。</p>
<p>②ちえりあ特選若手落語会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 公益社団法人落語芸術協会と連携した。</li> <li>▼ 落語の魅力を紹介するため、次代を担う若手落語家の公演会を公益社団法人落語芸術協会と連携し開催した。主な出演者は、三遊亭遊雀、立川談幸ほか(7月3日) 【実績】316名</li> </ul>	<p>北海道大学落語研究会の学生が運営に携わるなど、事業への市民参画を図ることができた。</p> <p>低廉な料金設定とし、市民に気軽に落語を楽しむ機会を提供することができた。</p>			<p>また、市民講師であるご近所先生の活用に結びつけられていることも評価できる。</p> <p>なお、自主事業については、収益性も意識した事業運営に努めていた。</p>
<p>④学校図書館司書業務マニュアル制作・研修業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 札幌市の学校図書館司書を支援するため、生涯学習センターの職員が有する図書に関する専門性やコーディネート力、研修の企画・運営のノウハウを生かして、業務マニュアルの制作や研修を実施した。 【実績】学校図書館司書スタートブック(業務必携)制作研修会(8/23開催)参加者15名</li> </ul>	<p>生涯学習センターの職員が有する図書に関する専門性やコーディネート力、研修の企画・運営のノウハウを生かし、学校図書館司書への支援とともに、よりよい学校図書館活動に寄与することができた。</p>			
<p>④西区ときわ大学(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 西区役所から委託され、高齢者対象の「西区ときわ大学」を全15回のカリキュラムで実施した。ご近所先生を講師として活用するなど、市民による学び合いを推進した。(9～10月) 【実績】15回50名</li> </ul>	<p>講座を通じて卒業後に同期会が発足した。高齢者が外に出るきっかけをつくることに繋げることができた。</p>			
<p>⑤ 東区年輪大学(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 東区役所から委託され、高齢者対象の「東区年輪大学」を全16回のカリキュラムで実施した。ご近所先生を講師として活用するなど、市民による学び合いを推進した。(6～8月) 【実績】16回35名</li> </ul>				

▽ 収益事業

① レストラン事業

▼ 生涯学習センターの旧レストランスペースをブックカフェスタイルに改修し、休憩・交流・生涯学習支援スペース「Chie Terrace(ちえテラス)」として、12月17日にオープンした。カフェ運営業務は公募により、タリーズコーヒージャパン(株)に委託した。なお、カフェ事業者は、「Chie Terrace(ちえテラス)」において実施する生涯学習推進事業、情報発信等の各種コラボレーション事業に協力又は共催することを条件に運営している。

・飲食店の開設・運営について、所管局と協議しながらほぼ計画通りに進めることができた。

・事業者募集からオープンまでの期間を出来る限り早めること、利用者への不便を最小限に留めることができた。

・自主事業であるため、収益性を意識した事業展開を期待する。なお、利用者にとっての利便性向上に資する取組としては評価でき、施設の利用者層の拡大にも期待したい。

② 自動販売機事業

▼ 売上高5,402千円(計画 5,500千円)

28年度のちえテラスのオープンに伴い、1階広場に設置していた自動販売機を1台撤去したため、全体の売上手数料は減った。

・自動販売機1台ごとの売上はカフェがオープンした12月以降も安定していた。特に1、2階に設置している自販機はホールやちえテラス(ホワイエ)の利用が増えたことで前年度より売上手数料の増加に繋げることができた。

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

- ▼ 委託業務、物品の購入などは、市内の企業に発注を心がけた。
- ▼ 一部清掃業務は(公社)札幌市母子寡婦福祉連合会に発注した。
- ▼ 障害者雇用(平成28年度 1名)

・委託、物品の発注等は、市内企業を積極的に活用することができた。

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果		A	B	C	D
実施方法	メディアプラザ利用者、貸室利用者、講座受講者、期間中の主催事業参加者を対象に記述式のアンケートを実施。 (期間:平成29年2月1日～3月24日)	<p>・職員の接遇及び総合的満足度については、要求水準の満足度80%を上回っており、昨年度同様に良い結果が得ることができた。</p> <p>総合満足度について、昨年に引き続き要求水準を維持していることは、職員の継続した努力の成果であると認められる。</p> <p>今後も、要求水準を維持しつつ、アンケートから施設に求められていることを把握し、より良い施設運営ができるよう努めていきたい。</p>			
結果概要	<p>2月から3月中で実施。予定では2月中で終了としていたが、回答数が最低必要数(500枚)に到達しなかったために延長を行った。メディア・プラザ及び2階センター事務室においてアンケートに寄せられた意見およびそれに対する回答を掲示することとする。</p> <p>利用者を対象に接遇などの満足度を測るアンケートを2月～3月に実施し、総合満足度は約88.8%と、高い評価を得ることができた。(集計枚数:519枚)</p> <p>●職員の接遇 大変良かった:59.8% まあ良かった:26.3% 普通:18.7% あまり良くなかった:0.4% 悪かった:0.8%</p> <p>●今後の利用 利用したい:99.6% 利用したくない:0.4%</p> <p>●総合的満足度 とても満足:34.0% まあ満足:54.8% 普通:9.0% 少し不満:1.5% 不満:0.0%</p>				
利用者からの意見・要望とその対応	<p>【意見】レストランの再オープンの希望があった。</p> <p>【対応】12月17日に1階ちえテラスにてタリーズコーヒーが営業を開始した。</p>				

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	H28計画	H28決算	差(決算-計画)
収入	483,847	485,504	1,657
指定管理業務収入	457,966	458,924	958
指定管理費	356,783	356,783	0
利用料金	83,200	84,565	1,365
その他	17,983	17,576	▲ 407
自主事業収入	25,881	26,580	699
支出	496,257	498,292	2,035
指定管理業務支出	459,407	460,512	1,105
自主事業支出	36,850	37,780	930
収入-支出	▲ 12,410	▲ 12,788	▲ 378
利益還元	0	0	0
法人税等	35	1,000	965
純利益	▲ 12,445	▲ 13,788	▲ 1,343

▽ 説明

- ▼ 利用料金収入は、ここ数年の平均値を上回り、ほぼ計画どおりであった。
- ▼ その他収入は、さっぽろ市民カレッジ受講料やオペラシアターの受講料が主なものであり、407千円の減であった。
- ▼ 自主事業収入は、ちえりあ寄席等の入場料収入や自動販売機の事業収入などであり、699千円の増となった。
- ▼ 指定管理業務支出は、支払寄付金が発生したことにより、計画より1,105千円の増となった。
- ▼ 自主事業支出は、収益事業での消耗什器備品購入により、計画より930千円の増となった。

・講堂、映像スタジオ、ホールの利用率等が増加したことにより、施設利用料金収入は前年度を大きく上回った。また、ホール利用が増えたことで駐車場の利用率も増加し、増収につながった。

・全体としては増収となったが、収支は概ね計画通りに執行することができた。

・今後も引き続き、施設及び事業のPRを積極的に実施し、増収につなげていきたい。

A	B	C	D
<p>・貸室利用率の向上により、利用料金収入の増収につながったことは評価できる。</p> <p>なお、収支については赤字傾向が続いていることから、中長期的には、自主事業の見直しを含め、収支の改善を期待したい。</p>			



<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持		適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 札幌市個人情報保護条例の趣旨にのっとり「公益財団法人札幌市生涯学習振興財団が保有する個人情報の保護に関する規定」及び「個人情報の取扱いについて」を制定し、個人情報を適正に管理した。</li> <li>▼ 管理サイト全体の暗号化、個人情報パスワード保護に加えチェック体制の強化に努めている。</li> <li>▼ 主な個人情報について、紙媒体は鍵付きキャビネットで、電子データはパスワード管理にて、厳格な保守管理の下、適正に取扱っている。</li> <li>▼ 情報公開については、ホームページ上で個人情報の取扱いについて、基準及び規程を公開している。</li> <li>▼ 財団の定款、役員名簿、事業計画、事業報告、財務諸表等をホームページで公開しており、センターの運営状況の積極的な情報開示を行っている。</li> <li>▼ 受託者やその他契約の相手方について、「札幌市暴力団の排除の推進に関する条例」と「暴力団の排除にかかる照会事務マニュアル」に基づき、暴力団を排除している。</li> </ul>		適	不適

### Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
市民の多種多様な学習ニーズに応え、様々な学習相談に幅広く応じるとともに、生涯学習に関する資料の収集や紹介などのレファレンスサービスを通じて、学習支援を積極的に行った。 また、同時に、メディアプラザの図書・CDの札幌市図書システムとの統合、ちえテラスのオープンの相乗効果によって、メディアプラザの来場者数が大きく伸びた。	・「ちえりあ市民講師バンク」の利用実績が少ないことから、各種団体へのPRなどを強化するなどして実績増に繋げていきたい。
ホームページの活用や生涯学習情報誌、チラシ、広報誌の発行などにより積極的な情報発信を行うことができた。	一部貸室は依然として、利用率の伸び悩みが見られるため、引き続き利用促進に向けた検討を行う。
貸室については、施設・設備の経年劣化が進んでいるが、適切に維持管理を行い、利用者サービスの維持に努めることができ、利用率も高水準を維持することができた。	建物から設備機器類まで、経年劣化に伴い改修・更新が必要なものが増えている。利用者の利便性を損なわないように所管局と協議しながら、計画性を持って早期に改修・更新に着手していきたい。
さっぽろ市民カレッジでは、センター職員に加え、ちえりあ学習ボランティアやご近所先生(市民講師)の企画・運営による講座のほか、大学・企業とも連携した講座を実施したことで、多様な学習機会を提供することができた。また、開講時間の変更(早朝開催ほか)、都心部での開講のほか、企画の幅を広げるなどして市民のニーズに応えることができた。	「生涯学習のまちづくり」を具現化するために、学習機会はもちろんのこと、「ご近所先生」への応募やご近所先生企画講座終了後のサークル化を促し、市民の経験や学んだ成果を生かす取組や事業への市民参加を引き続き進めていく。

<p>学んだ成果を生かしたい市民を公募し、育成を図っているさっぽろ市民カレッジ「ご近所先生企画講座」を、区民センターや地区センター、町内会等と連携して実施し、「市民の学び合い」をコンセプトに、地域における新たな学習コミュニティづくりを進めることができた。</p>	<p>引き続き、市民の多種多様な学習ニーズに応えるため、事業内容の充実を検討していく。さっぽろ市民カレッジでは、開講時間や会場等も工夫するなどし学習支援の一層の充実を図る。</p>
<p>さっぽろ市民カレッジなどの講座をはじめ、センター主催の様々な事業において地域や関係団体とのコーディネートを行うことができた。</p>	<p>各区民センターや地区センター、町内会などと連携した地域会場で実施する講座を増やしていくことで、地域における新たな学習コミュニティづくりを更に進めていく。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>・さっぽろ市民カレッジについて、要求水準を満たしつつ、市民講師による「ご近所先生企画講座」や大通高校で実施する「学社融合講座」など、特徴ある講座企画に取り組みされていることは評価できる。さっぽろ市民カレッジが、まちづくりの担い手育成及びまちづくりそのものの促進を目的としていることを常に意識し、より良い事業展開を図っていただきたい。</p> <p>・貸室事業について、前年度に引き続き、本指定期間において貴財団が定めた目標値である79.9%を達成していることは評価できる。引き続き、平等利用の確保を徹底しながら、施設の利用促進を図っていただきたい。</p> <p>・施設の維持管理について、施設周辺環境変化もあり、これまでとは異なる対応も求められる中で、適切に管理されている。今後も、設備保守や警備に関する再委託先との連携を密にし、適切な対応をお願いしたい。</p>	<p>・生涯学習センターが行っている人材登録・紹介制度である「ちえりあ市民講師バンク」は、市民の自主的な学びを支援し、また、人々の学びの成果を活用することもできる有意義な取組である。そのため、同じくセンターが実施している「ご近所先生企画講座」により育成した市民講師との連携を積極的に図るなど、市民講師バンクの登録人材の充実と活用の推進に努めていただきたい。</p> <p>・さっぽろ市民カレッジについて、近年では年間約300講座が実施され、講座数の充実が図られてきたところである。今後、講座内容についてもさらに充実させていくために、受講者層、受講動機、講座のねらいの達成状況などについて、定量的、定性的な分析が必要となるため、評価・検証の在り方の改善についてご検討願いたい。</p> <p>・パソコンやスマートフォン、SNSの普及などにより、市民の情報を得る方法は多様化しているため、今後はその点についても意識した広報活動が求められる。その中でも、HPによる情報発信は広い世代に有効であることから、HPのリニューアルを機に更なる有効活用を努めていただきたい。</p> <p>・収支状況については赤字傾向が続いており、長期的には安定した事業運営にも影響を及ぼしかねないことから、自主事業を含め事業計画の見直しを図り、収支の改善を図っていただきたい。</p>

▽ 生涯学習センター貸室別利用件数等

		H26	H27実績	H28計画	H28実績
ホール	件数(件)	598	562	574	598
	人数(人)	113,915	111,098	113,567	123,153
	稼働率(%)	71.6	67.5	69.0	73.3
音楽スタジオ1 (副調整室)	件数(件)	741	753	679	750
	人数(人)	6,334	7,075	6,382	7,709
	稼働率(%)	95.7	96.0	86.6	95.1
音楽スタジオ2	件数(件)	861	866	839	819
	人数(人)	7,116	7,515	7,279	8,614
	稼働率(%)	97.4	98.9	95.8	97.7
演劇スタジオ1	件数(件)	778	765	764	817
	人数(人)	10,763	11,304	11,292	17,052
	稼働率(%)	97.4	97.7	97.6	98.3
演劇スタジオ2	件数(件)	848	827	845	786
	人数(人)	7,929	7,077	7,233	9,001
	稼働率(%)	97.4	95.4	97.5	98.0
サークル活動室1	件数(件)	892	867	858	847
	人数(人)	7,372	7,079	7,007	7,188
	稼働率(%)	98.3	98.3	97.3	98.6
サークル活動室2	件数(件)	818	823	829	793
	人数(人)	9,346	10,072	10,146	8,067
	稼働率(%)	96.5	95.1	95.8	96.3
サークル活動室3	件数(件)	688	674	692	737
	人数(人)	8,610	9,262	9,515	9,613
	稼働率(%)	88.8	87.7	90.1	94.2
サークル活動室4	件数(件)	712	618	637	629
	人数(人)	8,885	9,701	9,993	10,104
	稼働率(%)	92.5	86.5	89.1	86.2
サークル活動室5	件数(件)	644	637	625	630
	人数(人)	10,138	9,932	9,739	9,580
	稼働率(%)	87.0	87.7	86.0	90.2
大研修室	件数(件)	443	486	405	507
	人数(人)	24,660	25,346	21,116	29,761
	稼働率(%)	67.1	72.5	60.4	74.9
中研修室1	件数(件)	473	476	448	536
	人数(人)	15,666	15,883	14,959	17,599
	稼働率(%)	69.5	72.2	68.0	79.0
中研修室2	件数(件)	561	595	520	585
	人数(人)	17,796	17,738	15,513	16,517
	稼働率(%)	83.9	87.7	76.7	85.9

		H26	H27実績	H28計画	H28実績
研修室1	件数(件)	727	728	721	738
	人数(人)	8,209	8,263	8,184	9,210
	稼働率(%)	93.1	94.0	93.1	94.2
研修室2	件数(件)	645	627	646	617
	人数(人)	10,199	9,958	10,258	10,287
	稼働率(%)	85.3	83.1	85.6	84.7
研修室3	件数(件)	589	538	572	575
	人数(人)	7,040	6,646	7,063	7,200
	稼働率(%)	81.6	76.5	81.3	83.3
研修室4	件数(件)	540	495	526	474
	人数(人)	7,145	6,210	6,603	6,144
	稼働率(%)	79.8	74.2	78.9	76.9
研修室5	件数(件)	584	537	525	556
	人数(人)	8,079	6,981	6,829	7,982
	稼働率(%)	84.7	82.5	80.7	83.3
研修室6	件数(件)	529	499	489	524
	人数(人)	7,272	6,496	6,368	7,409
	稼働率(%)	81.8	81.4	79.8	80.1
コンピュータ 研修室	件数(件)	253	242	282	260
	人数(人)	4,635	4,302	5,019	4,082
	稼働率(%)	45.2	50.4	58.8	50.7
アトリエ	件数(件)	334	333	345	355
	人数(人)	3,792	4,648	4,820	5,048
	稼働率(%)	65.1	65.0	67.4	62.5
陶芸室	件数(件)	221	214	262	250
	人数(人)	2,406	2,246	2,752	2,605
	稼働率(%)	50.4	48.4	59.3	57.6
映像スタジオ	件数(件)	463	485	403	567
	人数(人)	8,693	10,032	8,339	11,365
	稼働率(%)	72.9	78.2	65.0	86.7
講堂	件数(件)	468	439	426	491
	人数(人)	50,326	49,890	48,385	58,045
	稼働率(%)	72.0	69.6	67.5	73.5
和室・茶室	件数(件)	295	426	328	428
	人数(人)	2,732	3,523	2,712	3,823
	稼働率(%)	50.1	70.8	54.5	70.6
全体	件数(件)	14,705	14,512	14,260	14,869
	人数(人)	369,058	368,277	361,888	407,158
	稼働率(%)	80.2	80.7	79.3	82.9

●H28計画値について

稼働率のH28計画値は、指定管理者提案書(H26～H29)の中で提出した目標数値に基づく値となっている。  
件数及び人数の計画値は算出していないため、稼働率の計画値でH27実績を割り返し、目安の数値を出している。

平成28年度研修会等案内及び参加一覧

	研修会等名	主催団体	日程	会場	参加者
1	北海道地区4月期 公益・一般法人定例講座「平成20年公益法人会計基準の基礎知識」	全国公益法人協会 北海道支部	4/13	北農健保会館	総務課長
2	平成28年度第1回EMS研修	札幌市環境管理事務局	5/9	わくわくホリデーホール	総務課施設係
3	子どもの力 図書館のためのブックフェア2016	(株)TRC北海道・(株)図書館流通センター北海道支社	5/19 ～20	札幌総合卸センター	事業課メディア・視聴覚係2名
4	ストレスチェック制度企業対応&メンタル不調対応マニュアル解説実務セミナー	(株)人事マネジメント研究所・宮島社会保険労務士事務所	5/24	南大通ビル2階セミナールーム	総務課総務係
5	全道社会教育主事等研修会(道民カレッジ連携講座)	北海道教育大学	6/2 ～3	かでの2.7	事業課長 事業課学習企画係3名
6	平成28年度全国生涯学習センター等研究交流会	国立教育政策研究所	6/2 ～3	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター(東京)	事業課学習企画係 事業課メディア・視聴覚係
7	平成28年度全国公立文化施設協会第1回総会・研究大会	公益社団法人全国公立文化施設協会	6/9 ～10	函館市民会館	センター長 総務課施設係
8	北海道地区6月期 公益・一般法人定例講座「新役員・職員のためのマイナンバーの税務関係スケジュールと申請書類」	全国公益法人協会 北海道支部	6/14	北農健保会館	総務課長 総務課総務係
9	第1回ホール連絡協議会	共済ホール	6/28	共済ビル	総務課総務係2名
10	実践的財務講座(全6講座)	札幌商工会議所	7/5-7 11・14 20・21	北海道経済センター	事務局長 総務課総務係
11	公益法人セミナー 公益法人/一般法人の会計実務を徹底解説	満喜(株)・白井万佐夫公認会計士事務所・日本事務機器(株)北海道支社	7/14	札幌センタービル	総務課総務係2名
12	平成28年度救命講習会	札幌防火管理者協会	7/22	生涯学習センター	総務課総務係 総務課施設係
13	自衛消防業務再講習	札幌市消防局	7/26	札幌市民防災センター	事業課メディア・視聴覚係
14	事例から学ぶ!!いまエンタープライズシステムに求められること	(株)インターネットイニシアティブ	7/27	ANA HOTEL SAPPORO	総務課総務係
15	自衛消防業務新規講習	札幌市消防局	7/31	札幌市民防災センター	総務課長
16	地域活性化のためのICT活用セミナー	北海道立生涯学習推進センター	8/5	北海道立道民活動センタービル	事業課学習企画係
17	道民カレッジ連携講座 学んだ成果を活用する仕組みの構築	北海道立生涯学習推進センター	9/1 ～2	かでの2.7	事業課学習企画係5名
18	税務調査に対応する事前準備と税務最新動向	全国公益法人協会 北海道支部	9/6	北農健保会館	総務課総務係2名
19	ビジネス課題の解決に図書館を使い倒せ!～ドロッカーも教えてくれなかった図書館活用術～	さっぽろビジネス支援図書館セミナー実行委員会	9/7	北海道経済センター	事業課メディア・視聴覚係3名
20	第58回(平成28年度)北海道図書館大会	北海道図書館振興協議会	9/8 ～9	北星学園大学	事業課長 事業課メディア・視聴覚係7名
21	改正安全衛生法施行に伴うストレスチェック制度セミナー	(株)アドバンテッジシルクマネジメント	10/5	札幌国際ビル	総務課総務係
22	マイナンバーセミナー	満喜(株)・日本事務機器(株)北海道支社	10/12	札幌センタービル	総務課総務係

23	平成28年度出資団体事務連絡協議会研修会	札幌市出資団体事務連絡協議会	10/14	札幌市中島体育センター	総務課総務係
24	第102回全国図書館大会東京大会	第102回全国図書館大会東京大会実行委員会	10/16	青山学院大学	事業課メディア・視聴覚係
25	第34回 北海道生涯学習研究集会「地域と学校」の関係を考える	日本生涯教育学会北海道支部	10/29	北海学園大学	事業課学習企画係2名
26	事業者向け省エネルギー実践セミナー(非製造業)	札幌市 環境局	11/2	わくわくホリデーホール	総務課施設係
27	平成29年度予算編成実務特別講習会	全国公益法人協会 北海道支部	11/8	道特会館	総務課総務係
28	北海道地区11月期 公益・一般法人定例講座「公益法人・一般法人のコンプライアンス基礎知識」	全国公益法人協会 北海道支部	11/9	北農健保会館	総務課長 総務課総務係
29	年末調整直前 マイナンバー制度対策セミナー	(株)ミロク情報サービス	11/9	ニューオータニイン札幌	総務課総務係
30	特別講演会POP甲子園(全国大会北海道ブロック)開幕への序章!	札幌市教育文化会館	11/22	札幌市教育文化会館	事業課メディア・視聴覚係3名
31	公益法人・一般法人会計セミナー 実務編	(公財)公益法人協会	11/29 ~30	野村証券㈱札幌支店 ホール	総務課総務係
32	年末調整等説明会	税務署	11/30	わくわくホリデーホール	総務課総務係 2名
33	事業者向け省エネルギー技術講座(全3回)	札幌市 環境局	11/29 1/17 2/21	わくわくホリデーホール	総務課施設係
34	北海道地区12月期 公益・一般法人定例講座「マイナンバー施行後の源泉徴収、年末調整、法定調書作成の留意点」	全国公益法人協会北海道支部	12/9	北農健保会館	総務課総務係
35	公益法人・一般法人会計セミナー 決算編	公益財団法人公益法人協会	2/2~3	野村証券株式会社札幌支店ホール	総務課総務係2名
36	北海道地区2月期公益・一般法人定例講座決算前に確認しておきたい公益法人会計基準のポイント解説	全国公益法人協会 北海道支部	2/2	北農健保会館	総務課総務係
37	公益・一般法人 決算実務特別講座	全国公益法人協会北海道支部	2/3	北農健保会館	総務課総務係
38	全国・音楽堂等アートマネジメント研修会2017	文化庁・公益社団法人全国公立文化施設協会	2/8 ~10	国立オリンピック記念青少年総合センター(東京)	総務課施設係 事業課学習企画係
39	地域生涯学習活動実践交流セミナー	北海道立生涯学習推進センター 北海道社会教育主事快協議会	2/16 ~17	かでの2.7	事業課学習企画係2名
40	北海道地区3月期公益・一般法人定例講座雇用する側に必要な体制・手続きと法的知識	全国公益法人協会北海道支部	3/17	北農健康保会館	総務課総務係1名
41	接遇研修	(公財)札幌市生涯学習振興財団	7/4	生涯学習センター	生涯学習センター8名
42	ハラスメント研修	(公財)札幌市生涯学習振興財団	7/4	生涯学習センター	生涯学習センター8名
43	ハラスメント防止研修	(公財)札幌市生涯学習振興財団	10/6	生涯学習センター	正職員10名 嘱託職員3名 契約職員9名
	ハラスメント防止研修	(公財)札幌市生涯学習振興財団	10/20	生涯学習センター	正職員11名 嘱託職員1名 契約職員8名
	ハラスメント防止研修	(公財)札幌市生涯学習振興財団	10/25	青少年科学館	正職員13名、嘱託職員16名 派遣職員2名、契約職員7名 パート3名、アルバイト7名

44	新人研修	(公財)札幌市生涯学習振興財団	4/1	生涯学習センター	新採用契約職員6名
	新人研修		7/1~5 2・3を除く	生涯学習センター 青少年科学館	生涯学習センター3名
	新人研修		8/1	生涯学習センター 青少年科学館	生涯学習センター1名